

114
A 4079



九月廿三日付地質測量家島田山際両氏ヨリノ
報知

イクレベツノ名
クステンベツト云

ポレベツ イクレベツノ上流ニツニ
分ルベツヲホシベツト云フ 石炭ノ露出甚々多ク且厚ク
其質モ亦極上等ト被察炭左ニ其概況奉申上候
ポレベツト「イクレベツ」ト合流致シ候處マテハ石層一續ノ「シエー
ル」ニ有之候此合流ノ處ヨリ忽チニ砂石ト相成ニ又ヨリ
允亮丁位ニテ始テ石炭ヲ見受ケ申候層ノ傾斜ハ甚々
峻敷殆ト直立ノ如クナレハ測量ヲ經候迄ハ其結構等判
然難致候故便宜ノ為メ下流ヨリ順序ヲ立テ其厚サ等ヲ
略記致シ候

第一番厚サ十五尺ニシテ薄キ間層二三アリ其質良
好

第二番厚サ三尺六寸 良煤ナリ

用石史

大正十一年四月
限正
侯爵
印



第三番厚サ三尺 良煤ナリ

第四番同 六尺四寸 同上

第五番同 三尺八寸 同上

第六番同 五尺六寸 同上

第七番同 三尺其間壹尺九寸ノ砂石アリ煤質宜シ

第八番同 四尺五寸 良煤

第九番同 五尺五寸 同上

以上イクレベツニ露出ス九層トモ其間隔皆相近シ(壹番ヨリ九番迄大凡四丁位但シ河流ニ沿ヒ

幌内太ヨリ此地迄河流ノ長サ大凡三里位ト被察候ニ又ノ處ヨリポレベツ河ヲ溯ルコト凡壹里位ニシテ煤層ノ露出アリ固ヨリイクレベツノモノト同一ナルヘシト相考ヘ申候左ニ列記仕候分皆良煤ニ御坐候

第六番ヲ脱セルト見ヘタリ

第一番厚サ拾二尺 薄キ間層多シ

第二番同 八尺五寸 稍厚キ板石トモ

第三番同 四尺三寸

第四番ハ二重ニ分ル一ツハ拾二尺一ツハ七尺其間二尺四寸ノ磐アリ

第五番厚サ七尺五寸

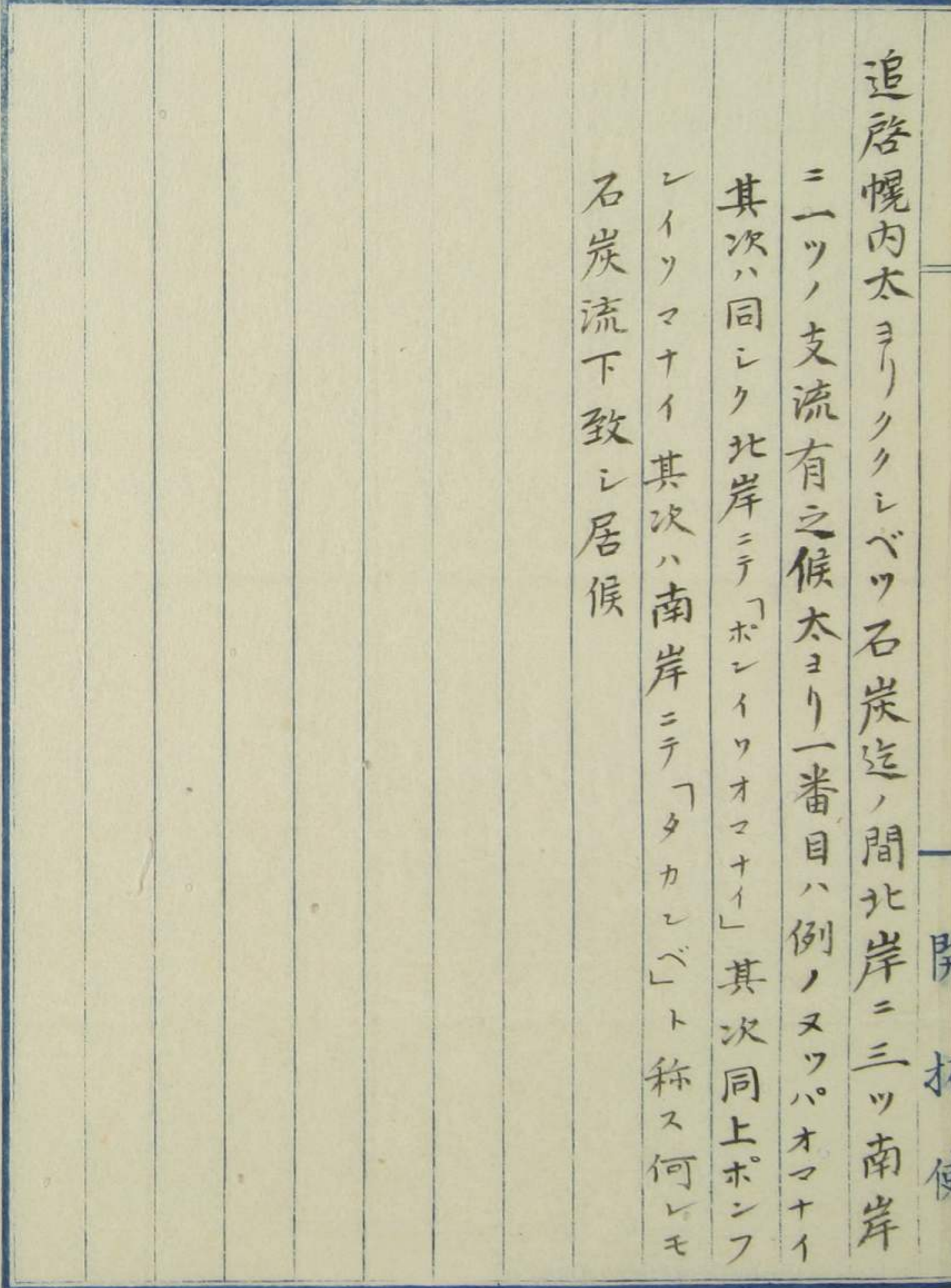
第七番十八尺九寸ニシテ三層アリ其間隱伏トシエールニ有之候

第八番九尺三寸是モ二層ニテ其間一尺七寸ノ磐アリ

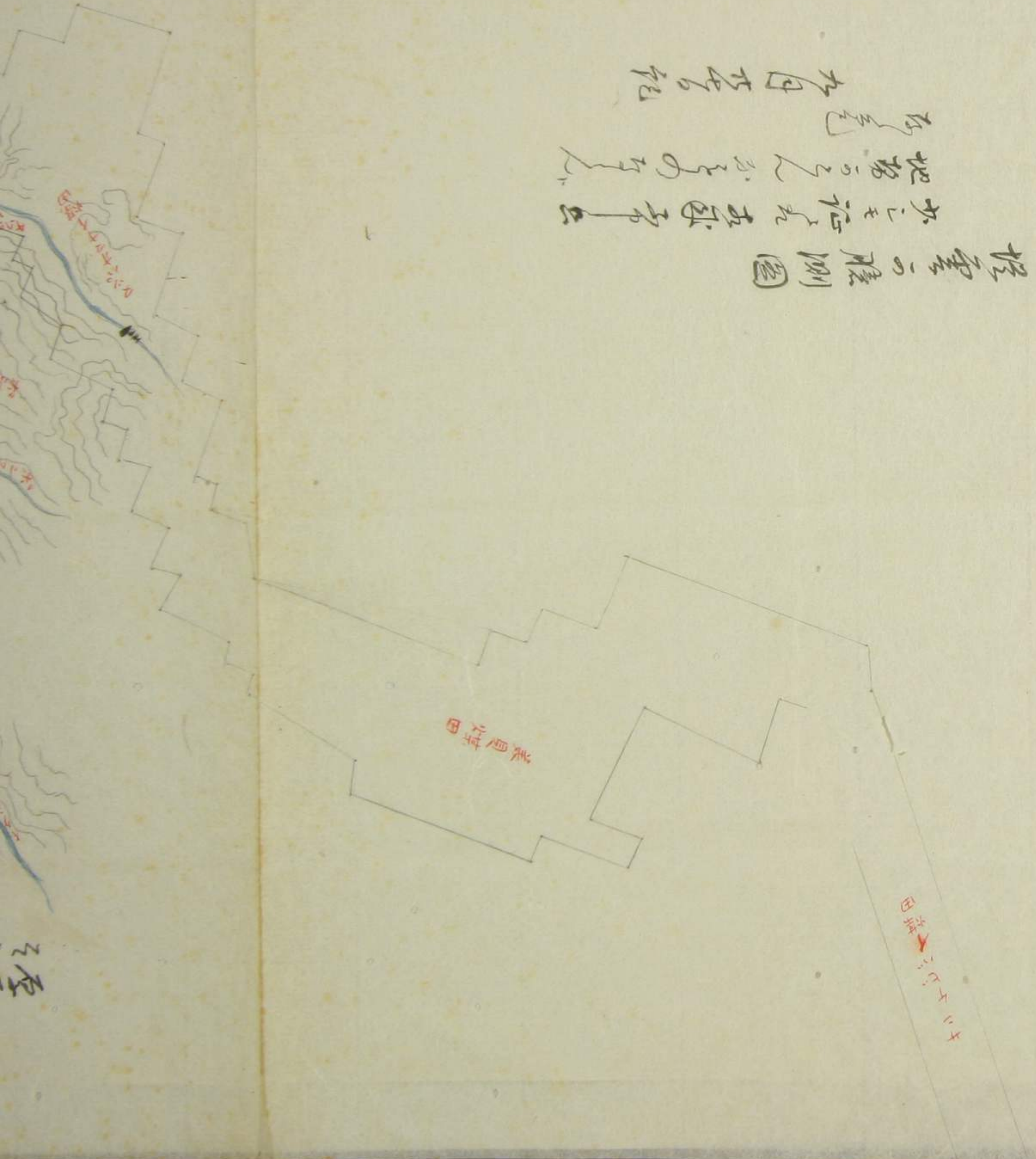
以上ノ八層モイクレベツノ如ク凡五丁位ノ間ニ露出致シ候也

右真ノ概況ニ御坐候

追啓幌内太ヨリククレベツ石炭迄ノ間北岸ニ三ツ南岸
 ニ一ツノ支流有之候太ヨリ一番目ハ例ノヌツパオマナイ
 其次ハ同レク北岸ニテ「ホレイワオマナイ」其次同上ポンフ
 レイツマナイ其次ハ南岸ニテ「タカレベ」ト称ス何レモ
 石炭流下致シ居候



幌内ノ地形圖
 カシモ江ノ水取
 堤防ノ水取
 丸田ノ水取

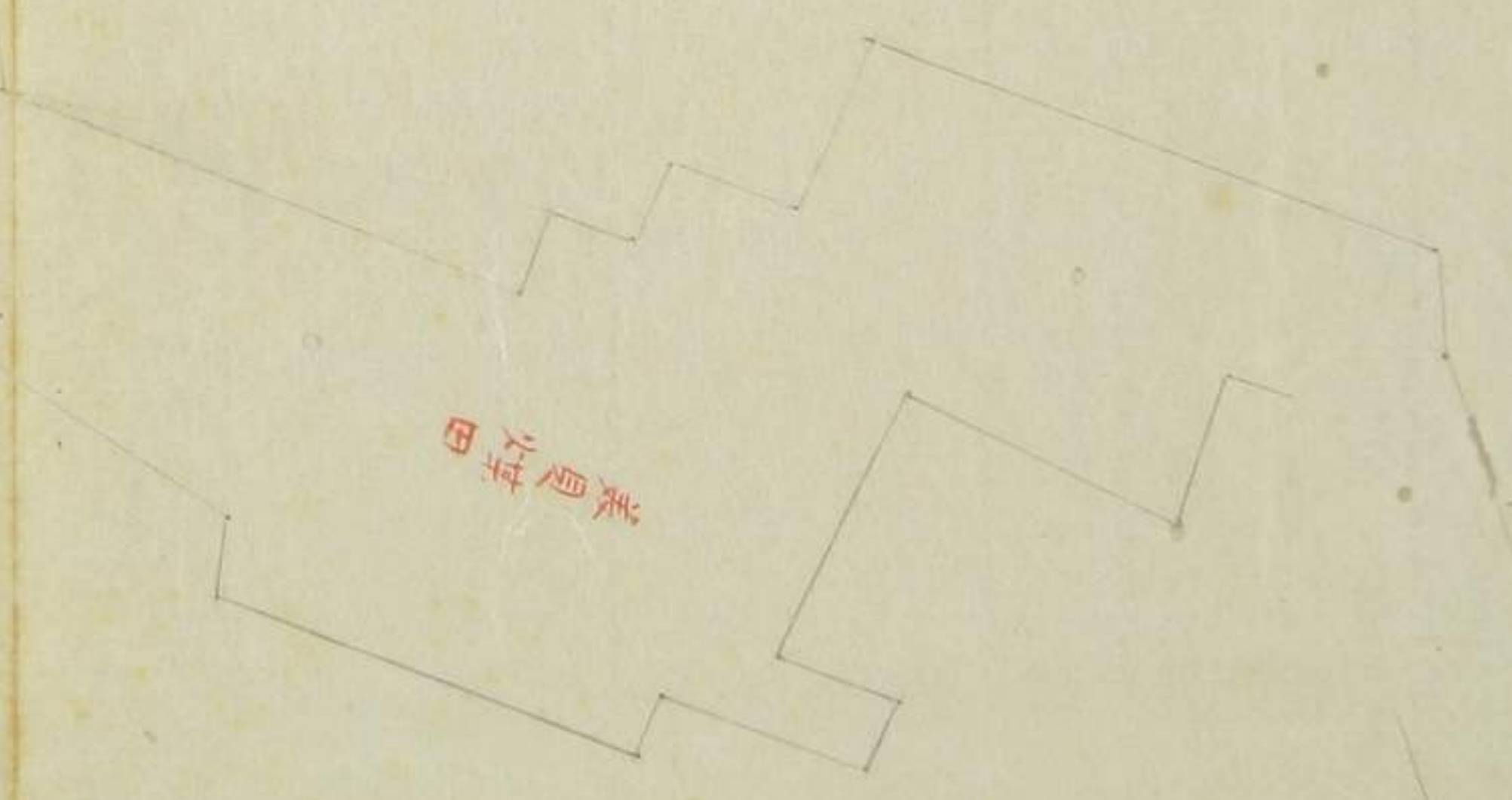


堤壘の概測圖

此に示す証は古河藩に在
地場の人より得たる
也

九月廿七日

古河藩に在りし
証より得たる



水田

水田

水田

